

地域に合わせた 『個別の支援』から『地域全体の取り組み』へ

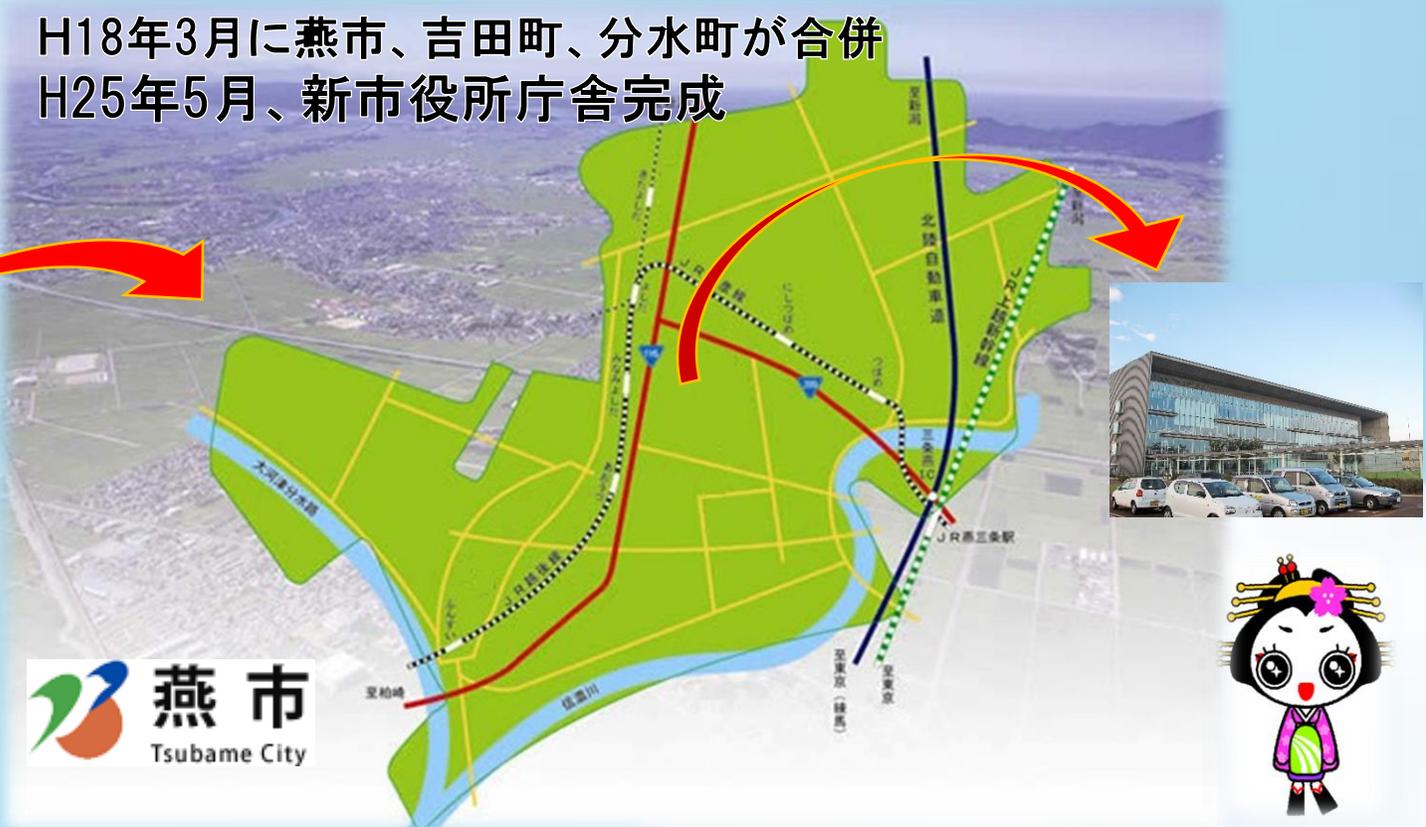
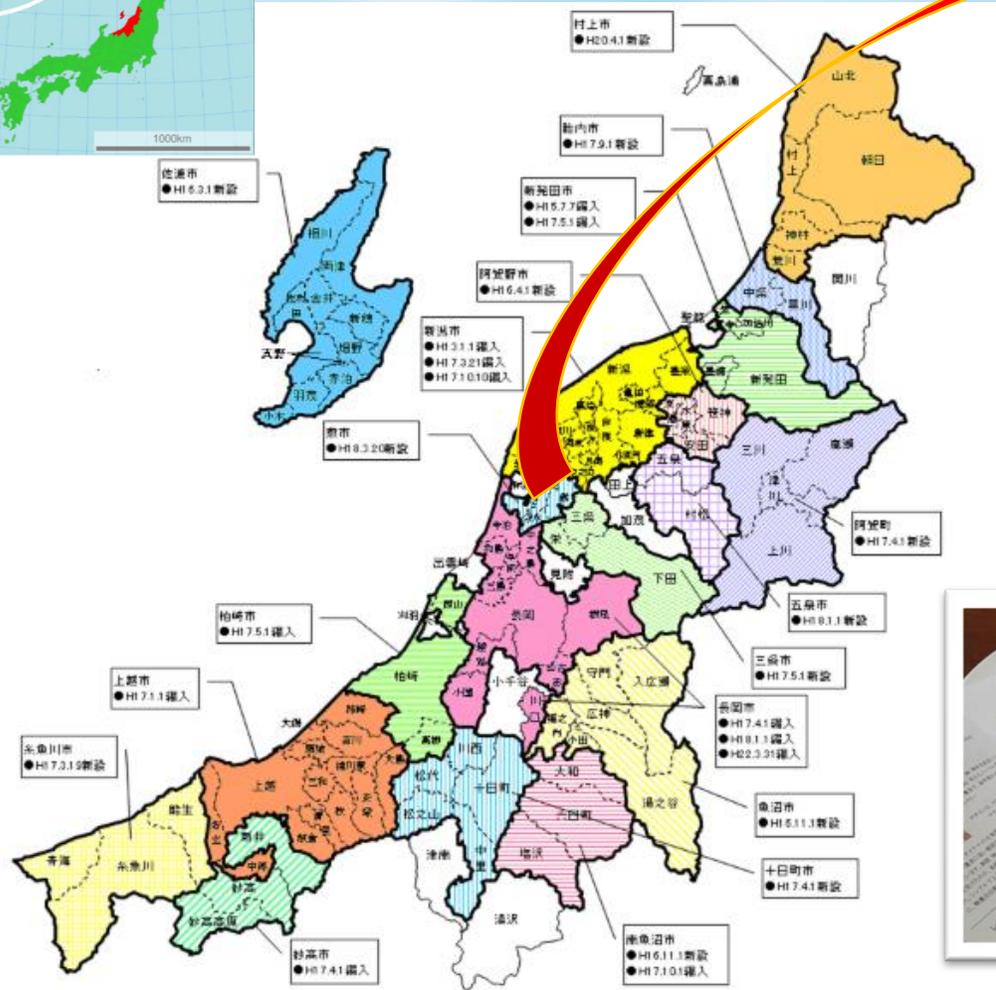
～認知症の人の見守り・声かけ・搜索訓練、体験会を通して～

2019.06.27

2019年度 認知症地域支援推進員現任者研修 事例報告

新潟県 燕市の紹介

H18年3月に燕市、吉田町、分水町が合併
H25年5月、新市役所庁舎完成



ノーベル賞授賞式晩餐会で使われるカトラリー、金属加工、桜の名所...



燕市の状況

H30年12月末

人口	79,804人
世帯数	29,483世帯
面積	110.96km ²
65歳以上人口	23,954人
高齢化率	30.0%
日常生活圏域	4圏域
包括数(すべて社会福祉法人への委託)	4か所
推進員の配置(専任:H26年4月社会福祉法人への委託) H28年1月から燕市役所に出向	1人
65歳以上の要介護認定率	18.6%
要介護(支援)認定者数	4,457人
認知症日常生活自立度Ⅱa以上 (H30年3月末)	2,871人

燕市認知症総合支援事業業務委託仕様書 抜粋

(1) 認知症地域支援体制の整備

- ① 支援ネットワークの構築
- ② 地域ケア会議への参加
- ③ 認知症カフェの開催
- ④ 研修会・事例検討会の開催
- ⑤ 専門性を活かした個別支援
- ⑥ 「認知症の人と介護者のつどい」の開催
- ⑦ **認知症の人の見守り・声かけ・搜索訓練の実施**
・はいかいシルバーSOSネットワークと協働して、
燕市内3地区での見守り・声かけ・搜索訓練を
実施する。

認知症地域支援推進員の動き

- ・ 昭和××年11月、特養事務員として介護業界デビュー
- ・ 平成18年7月、特養の施設介護支援専門員として採用
- ・ 平成20年5月、居宅介護支援事業所に、介護支援専門員として配属
- ・ 平成23年4月、分水包括に主任介護支援専門員として配属
- ・ 平成26年4月から燕市認知症施策総合推進事業が開始、専属の認知症地域支援推進員として分水包括内で活動開始
- ・ 平成27年に燕市認知症対策部会を設置、事務局として参加
- ・ 平成28年1月から燕市役所長寿福祉課に出向
- ・ 平成29年度から事業名が上記タイトルに変更
- ・ 平成29年度から認知症初期集中支援事業の立ち上げに協力
- ・ 平成30年度から上記チームのコーディネーターに就く

初年度 認知症の人の見守り・声かけ・搜索訓練の開催に向けて 1

◎第1回市民セミナー 講師：福岡県 大牟田市役所 池田武俊氏

- 認知症になっても安心して暮らせるまちづくり
- あらためて地域の実情を知る ⇒ 今年は無理(°Д°)ノ
- 若年性認知症の人の交通死亡事故
- 包括として、推進員として、個人としても関わりのある人
- 支援の振り返り、今必要な支援は何か？
 - ☆ 認知症についての理解があるまちへ
 - ☆ 地域全体で見守りの出来るまちへ

今、できることは？

第11回徘徊SOSネットワーク模擬訓練（白川小学校区） 2015.9.21



初年度 認知症の人の見守り・声かけ・捜索訓練の開催に向けて 2

認知症見守りサポーター講座を無理なく開催

- ◎ 住民主体での開催（**所属包括と関係性を築けていた**、まちづくり協議会の主催）
- ◎ 協議会内の『**子ども見守りボランティア**』を主対象
- ◎ 事前説明を兼ねたサポーター養成講座と、会場周辺で1時間程度の声かけ訓練、2日間での開催
- ◎ 『**探す**』よりも『**予防 = 声かけ**』
- **次の開催に繋がる仕掛け**

◎ 2日間の述べ参加者数 112人

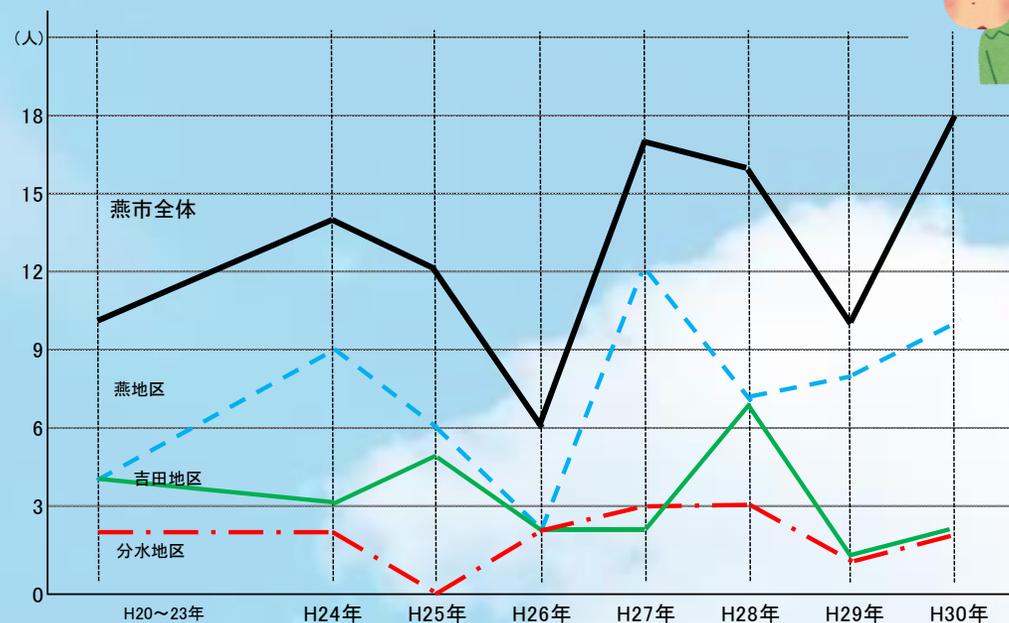
- * 協議会役員：10人 子ども見守りボランティア：18人 一般参加者：42人
- * 関係機関・施設職員など：42人 （全包括+広域で活動できるケアマネ、キャラバンメイト等）
- * 警察の参加なし 消防は見学のみ
- * 広報 新聞報道 = 2社 TV = 1社（NHK関甲信越） 燕市長のブログ

平成30年 燕市の行方不明者の状況

新潟県警察 燕警察署 はいかいシルバーSOSネットワーク 連絡票より

No.	月日	行方不明となった時間	行方不明となった場所	行方不明となった人			発見(解除)時間
				住所地	性別	年齢	
1	1月1日	午後12時30分頃	親せき宅	燕中学校区	女	80代	同日14:50発見
2	1月7日	午後3時30分頃	外出先	燕中学校区	女	70代	同日17:20発見
3	2月15日	前日午後4時頃	自宅	小池中学校区	女	80代	翌日8:50発見
4	4月1日	前日午後8時～翌朝8時頃	自宅	分水中学校区	男	70代	同日14:10発見
5	4月4日	午後1時頃	自宅	燕中学校区	男	90代	同日22:50発見
6	5月3日	前日午後11時頃	自宅	燕中学校区	女	70代	未発見
7	5月21日	午後4時頃	自宅	燕中学校区	女	80代	同日20:20発見
8	7月6日	午前8時頃	自宅	燕北中学校区	女	10代	同日19:20発見
9	7月16日	午前9時45分頃	自宅	燕中学校区	男	80代	同日13:18発見
10	8月15日	午後4時30分頃	自宅	燕中学校区	男	90代	同日18:00発見
11	8月26日	午後5時頃	自宅	吉田中学校区	男	80代	翌日14:38発見
12	9月6日	午後1時頃	非公開	非公開	男	80代	翌日7:58発見
13	9月17日	午後1時30分頃	外出先	吉田中学校区	女	90代	同日16:20発見
14	9月22日	午前8時頃	自宅	分水中学校区	女	70代	翌月13:50発見
15	12月23日	午後8時15分頃	新潟市南区	燕中学校区	女	70代	翌日0:50発見

行方不明者数の推移(H20～30)



行方不明者数の推移(H20～30)

燕市分水地区地域包括支援センターに残る、燕警察署 はいかいシルバーSOSネットワーク 連絡票より

燕地区	男	女	計	分水地区	男	女	計
H20～23年	3	1	4	H20～23年	2	0	2
H24年	1	8	9	H24年	1	1	2
H25年	4	2	6	H25年	0	0	0
H26年	1	1	2	H26年	1	1	2
H27年	5	7	12	H27年	3	0	3
H28年	3	4	7	H28年	0	2	2
H29年	4	4	8	H29年	0	1	1
H30年	3	7	10	H30年	1	1	2
計	24	34	58	計	8	6	14

吉田地区	男	女	計	燕市全体	男	女	計
H20～23年	3	1	4	H20～23年	8	2	10
H24年	2	1	3	H24年	4	10	14
H25年	5	0	5	H25年	9	2	11
H26年	2	0	2	H26年	4	2	6
H27年	1	1	2	H27年	9	8	17
H28年	3	4	7	H28年	6	10	16
H29年	1	0	1	H29年	5	5	10
H30年	1	1	2	H30年	5	9	*15
計	18	8	26	計	50	48	99

* 地区非公開 1人



はいかいシルバーSOSネットワークは、行方が分からなくなった認知症高齢者などの早期発見・保護とその後のケアを目的に、警察と消防、市役所、地域包括支援センターなどの関係機関やバス・タクシー介護施設、新聞店、ガソリンスタンドなどとネットワークを構築し、認知症高齢者などが行方不明にされた時に、ファックス等で情報を共有し、早期発見を目指す仕組みです。



全国の警察に届け出があった認知症の人の行方不明者は、平成29年の1年間に1万5,863人(男性8,851人、女性7,012人)となり、前の年を431人上回りました。統計を取り始めた平成24年以降、5年連続で増加しています。平成30年の人数はまだ発表されておりませんが、燕市の人数をこの表で、ご報告いたします。





認知症の人にやさしいまち 燕市

模擬訓練実施中

認知症の人にやさしいまち
燕市



高齢者等見守り事業

おかえりつばめ～ル事前登録

「おかえりつばめ～ル」とは・・・
高齢者の力などが行方分からなくなってしまいがちで、警察に捜索願を出された際、協力者である「おかえりつばめ～ル」の登録に、行方不明になられた方の連絡先メールでお知らせして、発見のご協力をいただくものです。
※メールで送る情報は、本人や家族から「この情報は流してもよい」と了解を得た情報のみになります。

「おかえりつばめ～ル」には事前登録制度があります。
行方不明になる前にその可能性のある方の情報を前もってお知らせいただくことで、
● 地域での見守り体制を構築するなど、行方不明になるリスクを減らす対策がとれる
● 前もって「戻す情報」「戻さない情報」を確認しておくことで、行方不明になった際に「おかえりつばめ～ル」での情報伝達を迅速に行うことができる
● 発見された際の、本人確認にかかる時間を減らすことができる
● 杖・傘や靴などに貼る「登録者ステッカー」の配布を受けることができます
といったメリットがあります。

登録者ステッカー

申請後、決定された登録番号を胸当てやバックなどに貼ります。傘・杖・カバンや靴のかかと部分などに貼り付けて使用します。行方不明になった際に「〇〇番のステッカーを貼った方」といった連絡にしたり、発見時の本人確認、警察からの見守りに活用いただけます。
※無料です。お問い合わせ先、お問い合わせ先にもあります。

燕

おかえりつばめ～ル

高齢者等見守り事業

「おかえりつばめ～ル」を配信しています

行方のわからなくなった認知症高齢者などの捜索を「おかえりつばめ～ル」の登録メールアドレスでお知らせします

メールを受け取ったら・・・

- 今いる場所の周りを見渡す
- 家の窓から外の道路や庭を見える など

無理のない範囲での捜索活動にご協力ください!

おかえりつばめ～ル登録方法

- ① 新市役所長寿福祉課窓口・各地域包括支援センターに申請書提出
- ② 携帯・スマートフォンから空メールを送信して、登録する
その他、企業・団体などで一括して申し込む場合は長寿福祉課担当までご相談ください。

登録するだけで・・・
あなたも「おかえりつばめ～ル」!

お問い合わせ
新市 健康福祉部 長寿福祉課 地域支援相談係
TEL: 0256-77-8157 (直通)
FAX: 0256-77-8138

認知症の人に見られる様子の一例

危うさ、困っている様子、不自然な行動

- 道路の真ん中を歩いている
- 周囲をキョロキョロ眺めている
- 車が来ていても、赤信号でも道路を渡ろうとする
- 同じところを行ったり来たり、何度も歩いている
- 道端に座り込む、お店などの入口に立ちつくす

- 何度も何度も、いろんな人に道を聞いている
- 夜中や早朝に、一人でもくもく歩いている
- パジャマで外出など、身なりが整っていない
- はだしやスリッパ、右と左でちがうはき物
- 寒いのにうす着、暑いのにあつ着
- カサなしで、雨の中を歩いている

※一人での対応が難しい、うまくないと感じたら、時間を置く、近くの人に応援を頼むのも方法です

見守りつばめ あんしんカード

認知症の人へかかわる時の心がまえ
～さりげなく、自然に～

- ① おどろかせない
- ② 急がせない
- ③ 心をきずつけない

小学生の皆さんへ 『こわい、むずかしい』と感じたら無理をしないで、先生やお家の人、お店の人などに知らせましょう

こまっている認知症の人を見かけたら・・・

- 見かけた時間と場所は?
- 男の人?女の人? 服や持ち物は?
- どんなふう困っていましたか?

警察署: 110 燕警察: 94-0110
怪我・体調不良があれば救急車: 119
新市役所 長寿福祉課 地域支援相談係 77-8157

作成 2017/9/1 燕市認知症地域支援推進員 0256-92-1111 (内線2562)

2年目 見守り・声かけ訓練の拡大

◎ 包括中心での開催

- ・ **包括同士の協力体制**・・・市内3カ所での開催（208人）
- ・ 見守り・声かけから、搜索・通報へと発展

◎ 地域の状況に応じた開催

- ・ 住民主体と包括主体、WinWinの関係性
- ・ 参加し易い日時の設定

◎ 推進員は相談役

- ・ 情報提供やアドバイス、関係機関とのコーディネート

◎ **燕市高齢者等見守り事業の検討開始**

- ・ 情報伝達とハイリスク者の事前登録制度

包括との連携・・・

3～4年目 見守り・声かけ訓練の定着・拡大

◎ 包括中心での開催

- ・市内4か所（362人）、7か所（406人）での開催、
『訓練』から『体験』へ

◎ 実際に有った出来事を伝える

- ・訓練直後、道に迷っていた認知症の人に市民が気付き、自宅へ送る
- ・「訓練で学んだ知識があれば、救えた命があった」

◎ 推進員は何でも屋

- ・認知症の人の役、認知症の人ではないけど、ちょっと似ている人

◎ 燕市高齢者等見守り事業の開始

- ・おかえりつばめ～ルの配信と事前登録制度の開始

5年目 見守り・声かけ訓練の定着・拡大・広域化

◎ 隣接市村との共同訓練

- ・県高齢福祉保健課、県警（本部 所轄署）、J R、自治体、推進員

・情報伝達経路の確認

- * おかえりつばめ～ルの運用マニュアルの整備

⇒ **他自治体との連携 対象となる家族へのフォロー 緊急時の運用**

◎ **包括中心での開催** 5箇所（226人） 5年間で延べ1,314人

- ・包括業務の負担増大

◎ 地域の状況に応じた開催

- ・屋内での開催

- ・参加者 専門職≧市民 ⇒ 市民≠参加者

6年目 見守り・声かけ訓練の行く先

◎ 隣接自治体との共同訓練

- ・情報伝達整備後の状況確認、他の隣接市町村へのアプローチ

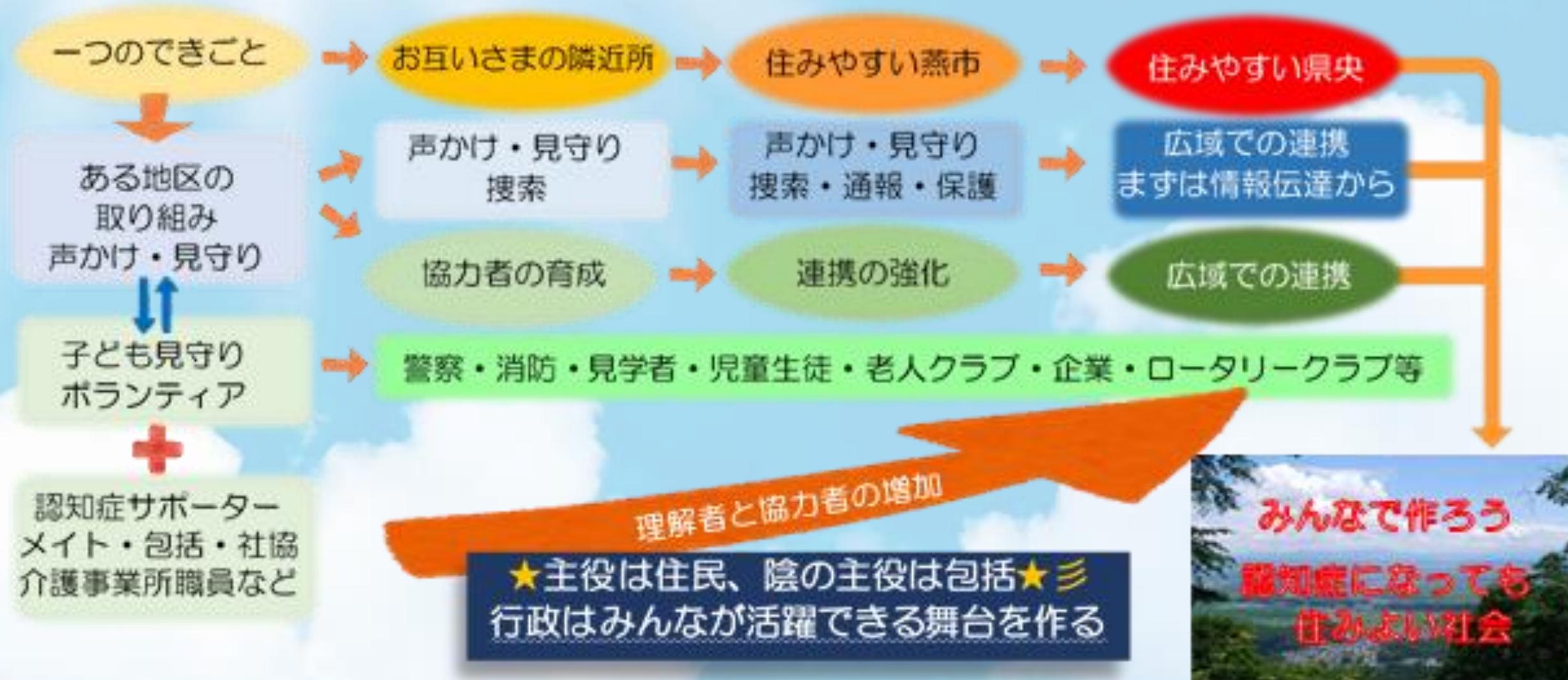
◎ 個人を意識した取り組み

- ・その人に合った搜索方法？
- ・その人に合った見守り方法

◎ ネットワークを活かした取り組み

- ・見守り以外での活用
- ・生活ニーズに応える取り組み

『個から地域全体』への進展状況～模擬訓練を通じて～



最後に・・・

◎ 連携・協力体制の構築

- ・推進員が一人で出来ることは殆どない、困ったら声を上げる
- ・身近なこと、自分ごととして考えらえる事柄の提示、共感・共有
- ・意識して構築したネットワークと構築されたネットワークの活用
- ・引き、寄りを効果的に
- ・話易い雰囲気、何気ない会話
- ・「受け身」の有効性
- ・予定や連絡先をオープンに

分水健康福祉プラザ案内図



燕市分水地区
地域包括支援センター



ご清聴ありがとうございました